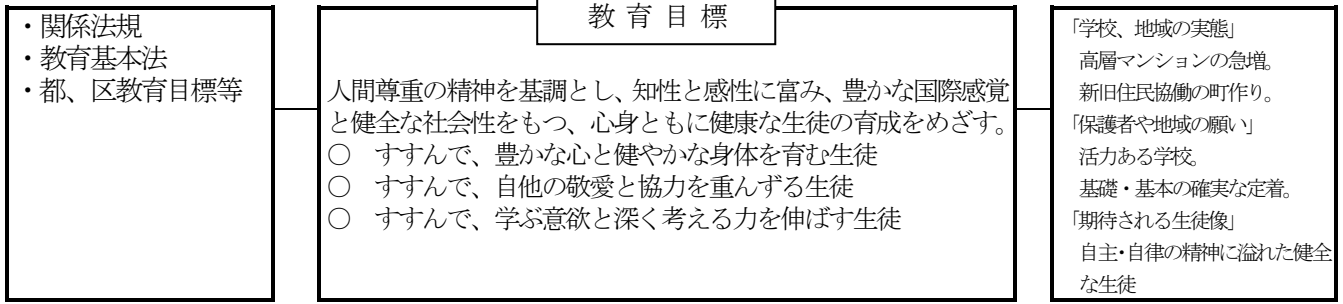


平成27年度 授業改善推進プラン



学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

☆「全国・都・区の学力調査」や「生徒による授業評価」「教員相互の授業評価」の結果等を踏まえ、発達段階や習熟度に応じた指導の改善を図る。

☆各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の教育活動においてゲストティーチャーの積極活用を努める。また、一斉学習だけでなく、グループ学習、個別学習、異学年による学習、TT等、多様な学習形態の工夫を図る。

☆国際化時代に対応できるよう、外国語（国際）の授業をはじめ学校教育全般にわたりITを積極的に活用し、英会話や英語教育を充実させる。

☆各教科、総合的な学習の時間において、記録、要約、説明、評価、記述等の言語活動を数多く取り入れ、思考力・判断力・表現力等を育成する。

☆情報化社会に必要なモラルを育成するとともに、科学的な見方や考え方を養い科学的な事象に対する興味や関心を高めるため、ICTを活用した教育を推進する。

各教科の指導の重点を確実に生徒に身に付けさせるため次の取組を行います

道徳教育の指導の重点	教科名	生活指導の重点
<p>(ア) かけがえない命の尊さに目覚め、他の人々に対する感謝の心と人の痛みをわかる思いやりの心を育てる。</p> <p>(イ) 家庭や地域と連携し、多くの大人とのかかわりを意識させることにより自尊感情を育てる。そのことを通して、他者を重んじながら、よりよく生きようとする意欲と態度を育てる。</p> <p>(ウ) 男女が互いに異性の特性や違いを正しく受け止め、相手の人格を尊ぶ姿勢を育てる。</p> <p>(エ) 「人が環境をつくり、環境が人をつくる」に校舎内外の整備、美化に師弟同行であたり、物的、人的環境</p>	<p>国語</p> <p>【重点目標】語彙力の定着及び、話して書いて伝え合う力をつけます。全員に漢字検定3級を受験し取得させます。</p> <p>【具体化のために】①段落ごとの要約・全体の要約をノートに書く。②教科書の音読・音読内容の聞き取り。③漢字・語句の書き取り及び辞書引き。④単元ごとに初感・読後の感想を書き、自分の意見を伝え合う。⑤単元終了後、漢字テストを実施（既習漢字の復習）。学期ごとに読み・書きの定着を確認する。100問テストを実施。⑥デジタル教科書を活用した授業を実施。⑦放課後などを使い、漢字検定の受験対策を実施する。</p> <p>【系統・継続】3年間共通する教材として、①教科書準拠の漢字の問題集②漢字のワーク③文法のワークを利用し、家庭学習の充実を図ります。単元ごとに教科担当がチェックし出来るまでやらせます。主体的に考え、問題に取り組むよう指導を試みていきます。</p>	<p>(ア) 基本的な生活習慣の確立に努め、礼儀を重んじ、きまりを守り、個人や集団生活の向上に努める態度を育てる。</p> <p>(イ) 生き生きと意欲的に学校生活を送れるよう、個に応じた指導の重視と教育相談の充実を図る。さらに、教育環境の整備・充実を努める。</p> <p>(ウ) 日常的な生徒との関わりや保護者・地域との連携を重視し、いじめや不登校などを未然に防止するとともに、問題の早期発見、早期解決に努める。</p> <p>(エ) 生徒の問題行動の指導に当たっては、全教職員が共通理解のもと、サポートチームなどを編成し組織的に取り組む。</p> <p>(オ) 生徒会活動・委員会活動の活性化を図り、「港子ども宣言」を基にした生徒の自主的・自律的な活動を支援していく。</p> <p>(カ) スクールカウンセラーと連携し、カウ</p>
	<p>社会</p> <p>【重点目標】地理では、資料を読み取る力をつける。歴史においては資料を見ながら、時代の様子を考察する力をつける。</p> <p>【具体化のために】①地理では、地図だけでなく、図表やグラフを読み取ることを繰り返し行い、その変化の原因を考察する学習機会を増やす。②歴史においては、年表を利用し時代の流れを確認しながら、その時代にかかわる資料を読み取る機会を増やす。読み取った情報を整理し、自分の言葉で表現することを繰り返し行う。</p> <p>【系統・継続】1、2年を通して、図表、グラフを読み取る機会を多く作り、語句を覚えるのではなく、資料から自分が見つけ出し、考える機会を多く持たせる。</p>	
	<p>数学</p> <p>【重点目標】数学のよさを味わわせるとともに、自ら課題を解決し、論理的に考え、表現する力を育成する。</p> <p>【具体的な取組内容】①数学的活動を通して、数学の利便性を感じるとともに、自らの考えを表現、発表し、根拠の共有化を図る。②具体的指示を細分化することで、つまづきを小さくする。③図やグラフ、タブレット等ICT機器などの視覚的支援を行うことにより、学習意欲を高める。④既習事項を意欲的に取り入れる。⑤単元ごとにノート、ワーク、ファイルのチェックを行い、基礎・基本の確実な定着を図る。</p> <p>【系統性】東京ベーシックドリルを用いた小学校からの既習事項・既有体験を授業に取り入れ、内容の定着を図る。スモール・ステップで同じ活動の難易度を上げ基礎・基本の定着を図る。また、発展的課題にも積極的に取り組ませる。</p>	

<p>づくりに努める。</p> <p>総合的な学習の時間の重点</p> <p>(ア) 発達段階に応じた各学年のねらいを定め、「日本の伝統・文化」と「共生」をテーマに系統性を重視した指導に留意する。</p> <p>(イ) 「生徒の興味・関心・意欲に基づく活動」や「地域や学校の特色に応じた活動」が展開できるように配慮する。</p>	理科	<p>【重点目標】 1年：理科への関心を高め、意欲的に授業に取り組む。2年：技能を高め、安全かつ正確に実験実習を行える。3年：知識・理解の定着を図るとともに、科学的な思考を日常的に取り入れられる。【具体的な取組内容】①ICT機器を活用し意欲を高める②ガスバーナーやメスシリンダーなどの器具を安全かつ正確に使える。③化学式や基礎知識を反復学習し、小テストや家庭学習を頻繁に取り入れる。④授業（実験、観察）に意欲的に取り組ませ、各自の考察をノートにまとめることにより言語活動を活発にさせる。【系統・継続】 1年生で学んだ器具を安全かつ正確に使えるようにすることで、2、3年の発展的な学習につながることを理解する。（系統性） 単元ごと的小テストや演習を継続して実施することにより着実に基礎・基本を身につけ、発展的な活動につなげる。（継続性）</p>	<p>セリング(個別・集団)の充実を図り、生徒理解を深める。</p> <p>(キ) 家庭や関係諸機関との連携を密にし、情報モラル教育を充実させ、携帯電話やインターネットの安全で正しい使い方を身に付けさせる。</p> <p>進路指導の重点</p> <p>(ア) 3年間を見通した全体計画に基づいた学年別指導計画を立て、職業調べ・職場訪問・職場体験や上級学校訪問などの体験的活動を通して、望ましい勤労観、職業観を培う。</p> <p>(イ) 自己理解を深め、「人間としての生き方」を考えることを通して、将来の職業や生活を見通し、主体的に進路を選択する能力や態度を育てる</p>
	音楽	<p>【重点目標】 音や音楽に対する関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞に取り組む中で、音楽的な力を育成する。【具体的な取組内容】①合唱を中心に行う授業では、必ず最初に発声練習を行い、無理なく豊かに響く声の出し方を意識する指導を繰り返す。②混声3部合唱作品を多く取り扱い、ハーモニーやパートのかけ合いを自然に感じ取りながら適切な表現方法を身に付けさせる。③アルトリコーダーの演奏を通して読譜力を高める。④音楽的な感受を言葉に表す活動を取り入れ、豊かな表現活動につなげさせる。⑤鑑賞指導では、生徒が主体的に音楽を聴いて、そこから諸要素の働きを感じ、音楽の良さを味わえる指導を工夫する。⑥明らかとさせたイメージを楽譜上の諸記号と関連付け、音楽用語を用いて表現の工夫ができるよう指導する。⑦箏の演奏を通して、日本の音楽に対する理解を深めさせる。【系統・継続】 規律ある中で楽しい授業になるように、学年による発達段階を考慮し3年間を見通した教材や発問、授業の組み立てなどを工夫する。</p>	
	美術	<p>【重点目標】 自ら課題を解決し、豊かに発想し、構想する力を育成する。</p> <p>【具体的な取組内容】①発想や構想の段階で、鑑賞を取り入れ、考え方や発想の仕方を学び、良いものをつくる構想を考えられるように指示を徹底する。②題材のねらい、評価の基準、毎授業の目標を明確化し、生徒に周知させる。また、目標を個人が達成できたかどうか自己評価させて課題解決能力を高める。③生徒への助言は提案型にする。質問にはその都度答えるようにし、発想したことを深化できる授業形態にする。</p>	
	保健体育	<p>【重点目標】 運動を通して楽しさや喜びを味わわせることで、達成感や自己肯定感を感じさせ、主体的に活動する態度を育成する。【具体的な取組内容】①単元ごとに授業のねらい・目標を明確にし、毎時間、単元の終了時に振り返りを行い、目標に向けての努力や達成につなげる。②グループ学習を積極的に取り入れ、お互いに認め合う気持ちを育成する。また、グループ学習を通して、個人やチームの現状を把握させ、それぞれに適した課題を明確にし、その解決のための効果的な練習法を実践できるようにする。③体力向上の必要性を感じさせ、基礎体力の向上に主体的に取り組ませる。④生徒の実態を把握するために、事前アンケートの実施や学習カードを使い、生徒の実態に応じた単元計画や、教材研究、指導支援などを行う。</p>	
	技術家庭	<p>【重点目標】 技術科の基本的な学習項目を着実に理解するために、教科書や副教材だけでなくICT機器の活用など幅広い教材を準備する。また、全学年に情報マナーの指導を徹底する。</p> <p>《1年》技能の向上・・・工具の正しい使用方法を理論的に理解を深める指導を実践します。</p> <p>《2年》情報の収集・共有を定期的に実践します。言語活動を通してコミュニケーション能力を養います。</p> <p>《3年》3年間の集大成として課題設定（教材選択）、実践を通して、生活に役立つ知識と技能の育成に努めます。</p> <p>【具体的な授業改善策】</p> <p>①2学期以降、各学年とも実習が増えるため、生徒が活動内容に興味をもち、意欲的に取り組むことのできる授業構成をします。</p> <p>②生徒の身近なところにある問題を提示し、自分の事と捉えて考えることのできる機会を増やします。</p> <p>【系統・継続】</p> <p>生活により密接している教科であることを認識させ、生活を営む上での問題解決能力を身に付けさせます。自立と共生をめざします。</p>	
外国語	<p>【重点目標】 積極的に自己表現し、コミュニケーション力のある生徒を育成します。</p> <p>【具体化のために】①毎時1人3回は発言・発表する機会を持たせます。②毎学期1回スピーキング・テストを行います。③毎学期、スピーキングコンテストを行い、語彙力を高めます。④チャット活動を通し、コミュニケーション・スキルを高めます。⑤英検受験指導を授業内で行い、資格取得につなげます。⑥アクティブ・ラーニング型授業で、能動的な学習スタイルを実践します。</p> <p>【系統・継続】 小学校の英語活動を生かし、3年間スモール・ステップで同じ活動の難易度を上げて活動をつづけることで、着実に基礎・基本を身につけ、発展的な活動につなげます。</p>		

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>2 学級 3 つに、1 学級を 2 つに分けた小集団授業の実施。(各学年 3 教科で実施)</p> <p>○習熟度別少人数授業の実施。(数学、英語)</p> <p>○全教員の協力による補充教室の実施。(9 教科、夏季休業中、勉強部)</p> <p>○介助員やスクールボランティアとの連携による特別支援教育の充実。</p> <p>○デジタル教科書を中心に ICT 機器を活用した授業。</p>	<p>○始業前の 15 分間を利用した朝読書の取り組み。</p> <p>○土曜日授業の実施と週あたり 29 コマ授業の実施による授業時数の確保。</p> <p>○小学校との連携を踏まえた時間表の工夫。(一部を除きノーチャイム)</p>	<p>☆「学力向上につなげる港南キャリア学習」という主題に基づく、アクティブ・ラーニング型授業形態による研究授業を核とした実践研究の推進</p> <p>○「生徒による授業評価」を実施。</p> <p>○目標に準拠した評価説明会の実施。</p> <p>○「学習の手引き」の配布とクラス指導。</p> <p>○定期考査の問題に観点を明記。</p> <p>○各教科、授業内にて適宜評価方法の説明を実施。</p>	<p>☆「学力向上につなげる港南キャリア学習」という主題に基づく、アクティブ・ラーニング型授業形態による研究授業を核とした実践研究の推進。</p> <p>○「生徒による授業評価」の実施。(校内研修で結果の共有化)</p> <p>○職層に応じた OJT の取り組み。</p> <p>○特別支援教育の充実に向けた取組。</p> <p>○自己評価、相対評価の活用</p>	<p>○港南アカデミー(幼稚園、小学校)、保育園との授業・行事交流。</p> <p>○港特別支援学校との交流。</p> <p>☆都立芝商業高校、都立三田高等学校との連携。</p> <p>○東京海洋大学との連携</p> <p>○ホームページの更新。</p> <p>○地域の協力の下「もちつき大会」実施。</p> <p>○「港区総合防災訓練」の実施</p> <p>○学校公開週間の実施。</p> <p>○学生スクールボランティアによる生徒の学習支援。</p> <p>○NPO 団体 Club TOM との連携。</p>

☆→今年度からの取組 ○→定着・継続している取組 ▲→活性化が必要な取組

港区立港南中学校 課題分析表

教 科	教 科 の 課 題 分 析
国語	<p>2年 平均73.7の正答率で、全国70.9を上回った。しかし、区は76.6なので、下回る結果となった。話し合いの内容を聞き取る力に課題がある。漢字の読み書きの更なる定着も図る必要がある。既習した漢字の反復練習を徹底指導したい。</p> <p>3年 平均72.4の正答率で、全国67.3、区69.2を上回った。特に聞き取る力は89.9の正答率で、話す・聞く力の成長が見受けられる。漢字の読み書きに課題がある生徒が学年で12名いることがわかった。少人数授業をいかにして、個別対応を試みる。</p>
社会	<p>2年生は全体的に正答率が高いが、地理においても、歴史においても資料から読み取る問題での正答率が低くだけでなく、無解答率も高い。自分が理解している、繰り返し学習をした内容については、ある程度自信をもって解答することができているが、初見の問題などは解答しようとする意欲を持たない生徒がいる。3年生も同じように無解答率の高い問題があり、学習内容に対する理解の度合いに差があると考えられる。また資料を分析して自分の言葉で表す活動においては、分析をするところと、表現するところの2か所でつまずきがあると思われる。</p>
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は観点別正答率が4観点すべてで全国平均を5ポイント下回っている。特に表現力は33.9ポイントであり、区平均46.8、全国平均44.2に比べ10ポイント以上低い。東京ベーシックドリル小4の内容も正答率8割以上の生徒が45パーセントしかいない。東京ベーシックドリルを用いた反復演習を行い、基本的な計算力をつけさせるとともに、グループ活動で互いに発表し様々な考えを学ぶ機会を多く取り入れる。 ・2年生は前年度に比べ0.3ポイント全国平均より低い。数量や図形などについての知識・理解が56.3ポイントであり、区平均61、全国平均57.2を下回った。小テストを取り入れる。 ・3年生は4観点すべてで全国・港区平均を超えた。関心・意欲・態度は52.4ポイントであり、区平均47.6、全国平均47を超えた。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生は、港区・全国ともに約3ポイント下回った。地学分野（火山・地震・地層）は区平均よりも3ポイント高いが、化学分野の水溶液の問題に関しては、区平均よりも12.7ポイントと大きく下回った。化学分野（物質の成り立ち）では、中学校理科の内容で初めての計算問題が入ってくる。（密度・質量パーセント濃度）計算問題は昨年問題視されていた部分であるので、重点的に指導していきたい。 ・3年生は、0.5ポイント港区より低く、1.2ポイント全国より低い。生物分野の動物の分類では、区平均よりも6.7ポイント高い51.2ポイントに上昇した。物理分野の電流の性質においても、区平均よりも3.9ポイント高く、全国よりも7.3ポイント高い62.2ポイントに上昇した。ただし、化学分野の物質の成り立ちについては、区平均よりも7.7ポイント低い。化学分野は1年生の内容であり、復習が足りていない部分があったと予想される。復習の時間を授業内でより取り入れるなどして対策を行っていきたい。
音楽	<p>(1学年)入学時には、落ち着かない生徒がいたが、移動教室を境にどちらのクラスとも、授業の取り組みがよくなってきた。この学年は、女子が男子の半分しかいないので、混成合唱を行うのは大変だが、パート編成を工夫して、より良い合唱になるように努力する。</p> <p>(2学年)全体的には前向きな気持ちで授業に取り組んでいる。男子の中に、年生の頃集中力が続かない生徒がいたが、2年生になってからは授業態度が改善されている。女子は昨年、入学時からなかなか声が出ない生徒がいたが、2学期頃からだんだん出るようになり、今では男子に負けないくらいになった。ただ、発言は男子に比べて少ないので、励ましていきたい。(3学年)集中力が続かない生徒がまだ男子の中にいるが、昨年よりは改善されている。全体的には指導には素直に従い、頑張ろうとする気持ちがある。男子の音量は2年生の後半から増してきて、女子にも良い刺激になっている。実技でもその他の学習でも力がついてきた。</p>
美術	<p>(1学年)制作技術力はあるが、集中力が続かない生徒がいる。自己の課題と向き合い、より良くしようとする意欲的な行動力が低い。</p> <p>(2学年)意欲は高いが自己肯定感が低い生徒が多く、経験の不足からくる自己表現や物のなりたちなどを知らないことが多いことが課題と言える。</p> <p>(3学年)発想したことを自分なりにまとめ、完成させる能力を持っている。より高い質にすることが課題である。</p>
保健体育	<p>各学年の男子の体力は、全国平均と比較してほぼ同じでバランスも良いが、筋パワーと柔軟性に課題がある。課題を解決していくために、力の負荷の大きい運動、連続して跳ぶ運動など増やしていく。また、パートナーの補助や反動を利用したストレッチを増やし、股関節・肩甲骨周りの柔軟性を高めていく。</p> <p>1 女子の体力は、国平均と比較してほぼ同じでバランスも良いが、バランス力に課題がある。課題を解決していくためには、体幹トレーニングを増やし、体を支える力を高めていく。また、パートナーの補助や反動を利用したストレッチを増やし、股関節・肩甲骨周りの柔軟性を高めていく。</p> <p>2 年生の女子の体力は、全国平均と比較してほぼ同じでバランスも良い。体力向上を図るためには、垂直跳びや縄跳びなどの運動を増やし、筋パワー（筋力とスピード）を高めていく。</p> <p>3 年女子の体力は、全国平均と比較すると低く、バランスも悪い。全体的なレベルアップをする必要がある。特に筋力と柔軟性を高める必要がある。課題を解決していくために、力の負荷の大きい運動、連続して跳ぶ運動などを増やす。また、パートナーの補助や反動を利用したストレッチを増やし、股関節・肩甲骨周りの柔軟性を高めていく。</p>
技術家庭	<p>生徒の身近なところにある問題を提示し、自分の事と捉えて考えることのできる機会を増やします。</p> <p>《1年》 2学期以降、実習が増えるため、生徒が活動内容に興味をもち、意欲的に取り組むことのできる授業構成をします。</p> <p>《2年》 情報の収集・共有を定期的実践します。</p> <p>言語活動を通してコミュニケーション能力を養います。</p> <p>《3年》 3年間の集大成として課題設定（教材選択）、実践を通して、生活に役立つ知識と技能の育成に努めます。</p>
外国語	<p>2年 平均76.9で、全国58.5、区73.3、昨年平均69.1を上回った。語形・語法、単語の並び替え、単語の知識など知識・理解などが高く、その知識を活用して長文の読み取り、英作文でも良い結果だった。前置詞の知識がやや弱いので、継続的に指導していく。</p> <p>3年 平均74で、全国58.6、区71.6を上回った。特に英作文は全国37.2に対し、55.5と大きく上回ったため、60を目指して指導していく。</p> <p>2年、3年とも分布図で90～100の山が一番高く、昨年の課題であった40～50の生徒数が減った。全体の語財指導や語彙指導や、個別の補充指導を繰り返した成果が上がっている。</p>